

事業名	第2回酒田みなとカヤックツーリング
参加人数	参加人数 41名 艇数 36艇
事業実施時期	平成26年7月26日(土)
事業実施場所	ツーリング：酒田港～新井田川へ 酒田1周
事業目的	<p>酒田市のまちづくりは北前船の海運にある。1672年に川村瑞賢によって年貢米を幕府に運んだ西廻り航路が開設されてから、物流やそれに由来する人的、文化的な交流によって文化形成がなされているまちであるが、市民と海との関係が希薄であることから</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中心市街地や周辺観光と港湾空間の一体化を推進し、港町酒田の景観を大事にしながら港湾区域をより充実した賑わい空間づくりと啓発活動を展開する必要がある。 2. より多くの人々が「海」や「港」に関心を持ち、参加できるようなイベントの開催が望まれる。 <p>当NPOが中心になり民の視点で課題解決していくことを目的とする。</p>
事業目標	<p>目的達成のため、当NPOがノウハウを有しているカヤックによる親水空間体験事業を通じて課題解決にあたる。</p> <p>また、カヤック体験を通じて海や水辺を体感し、市民と海、港の水辺の距離を縮めることで、まずは海、港についての市民意識を高める。これは、市民参加のカヤック教室という継続的な事業として行っていく。</p> <p>次に、目的となる課題の解決のための方策を探っていき、市民参加で民の視点でより広く継続な活動を実現し、市民参加型親水空間の賑わい剔出を地域の活性化につなげるとともに、次世代がより海に親しむ地域づくりを実現することを目標とする。</p>

酒田みなとカヤックツーリングでは、事業目的の2. より多くの人々が「海」や「港」に関心を持ち、参加できるようなイベントの開催が望まれる。

この部分の目的達成と、事業目標でもあるカヤック体験を通じて海や水辺を体感し、市民と海、港の水辺の距離を縮めることで、まずは海、港についての市民意識を高める。

この目標を達成すべく、計画がたてられた。

第2回酒田みなとカヤックツーリング

【開催日時、集合場所】

平成26年7月26日(土) 集合時間 AM 6:30~

第1船たまり物揚場 駐車場集合

【コース内容】

● ツーリングコース (約15.7km)

酒田港より出発、豊川から、新井田川へ、酒田港内を通り1周するコース

対象者：カヤック経験者

所要時間：約3時間半

中級から上級者コース

● ビギナーコース (約7km)

合流点：新井田川最上流スタート (ツーリングコースと合流)

全員でゴール (第1船溜まり) を目指す

対象者：初心者

所用時間：1時間半

初級者から中級者コース

【当日の日程予定】

ツーリングコース	ビギナーコース	
集合 (第1船たまり物揚場)		6:30
開会式		7:00
準備	サポート	7:30
出航	準備	8:00
↓	ワゴン 移動	8:30
第1リタイアポイント(大浜)	ツーリングにエールを送る	9:00
↓	新井田川 乗船場着	9:30
第2リタイアポイント(新井田)	ツーリングと合流・出航	10:00
↓		10:30
		11:00
ゴール (第1船たまり物揚場)		11:30
片付け 移動(みなとオアシス祭り会場) 移動は各自(詳細は当日)		12:00
お昼ご飯 (昼食が出来ます)		12:30
↓		13:00
解散		13:30

●危険区域、進入禁止区域、その他（全体地図）



〈実施状況〉

平成26年7月26日（土）

午前6時半より酒田港第1船溜まりへ集合

総勢41名・36艇の参加を頂きました。地元のみならず、内陸、他県からの参加者の方も多数ご参加頂きました。

天候にも恵まれ、晴天の中、酒田の街をカヤックで一周する、今までにない企画が始まるうとしていました。

「湊町 酒田」その名を知りつつも、なかなか港との接点がない私達にとっても、とても楽しいイベントの一つでした。

もちろん参加者の方々も、町の中をカヤックで漕ぐ事など、なかなか経験出来ないと、とても楽しみにして下さっていました。



いよいよ準備も整い、出発の時間です

まずは第1船溜まりを出発し、酒田港の航路を通り、リサイクルポートの先の豊川河口部を目指しました。港内ということもあり、波もなく穏やかです。

普段は船から以外では見ることが出来ない港と鳥海山と海のコントラストが最高にキレイでした。釣りなどを楽しんでいた方が、カヤックに声援を送ってくれ、参加者の方々の、一番厳しい海の部分も笑顔で漕げました。



豊川河口部からいよいよ市内を回る河川へと入って行きます。

豊川、幸福川、新井田川は、市内を流れる川として、昔から近隣住民はとても親しい川になっています。3つの川を堪能して新井田川と幸福川の合流地点で、ビギナーの方々と合流しました。



当日は、2014年の夏の最高気温を出した日になってしまい、リタイヤなどもあるかと万全の準備でいましたが、幸いツーリングコース全員が、合流地点までたどり着くことができました。休憩中も、今までに見たことのないカヤックの数に、町の方々も興味津々に手を振ってくれました。



休憩をとり、後半戦はビギナーコースの方々全員でゴールを目指します。橋の上から、断幕を掲げ、手を振ってくれた心のふるさと新井田川の会の方々、川沿いの地元企業の方々は、橋から差し入れなどをしてくれました。川沿いには写真を撮る方、手を振ってくれる方、話かけてくれる方など、たくさんの市民が温かい声援を送って頂き、参加者も、「こんなにたくさんの方々とふれ合いながらカヤック漕いだのは初めてです」と声を頂きました。



ゴールの後は、漁協の婦人部さんよりイカ焼きとおにぎりを用意頂き、酒田の名物も堪能され、ツーリング後も話に花が咲いておりました。

開催前から、県外の写真家の方から問い合わせがあるなどカヤックの全国紙に載せていただき、注目度も高まりました。

当日は、同港で「みなとオアシス祭り」が開催されており、みなとカヤックツーリングもイベントもその祭りと協力しています。

カヤック終了後は、お祭りの会場内に設けましたテント内で昼食をご準備しており、浜焼き、カレーフェス、海鮮市場など酒田唯一の港のお祭りとのコラボレーションで、カヤックの周知も出来ました